

やさい週間情報(第45号)

平成29年 2月 10日(金)

全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 4 L	6,000~5,800	6,000~5,800	C品増	1本売り (2L・L) 498~298円	本県産中心に北海道産の販売。 先週に引続き末端の動きは鈍く、入荷割合の高いC品を中心に在庫を持ちながらの販売となっている。各量販店の棚はカット販売中心のため、1本売りとなるL級以下は動きも鈍く、市況は全体的に弱含み推移となっている。 来週については、本県産の入荷量は微減となるものの、荷動きの鈍さは変わらず、市況は弱保合推移の見込み。 2月に入り消費宣伝会を開催しており、週末の荷動きについては若干回復してきたものの、厳寒期から総体的な荷動きは悪い。継続してC品のカット販売および細物の1本売り等の企画を提案し、消費の拡大を図る。
		A 3 L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		A 2 L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		A L	5,300~5,000	5,300~5,000			
		A M	4,200~4,000	4,200~4,000			
		B 4 L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		B 3 L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		B 2 L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		B L	4,700~4,500	4,700~4,500			
		B M	4,000~3,800	4,000~3,800			
		C 2 L	3,800~	3,800~			
C L	3,600~	3,600~					
名古屋	本県産 北海道産	A 4 L	6,000~5,800	6,000~5,800	増加	1本売り 498~398円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 消費宣伝会を実施し売場を拡大し荷動きの回復を図ってはいるものの、売価が高いことに加え、気温が低いことからL級中心に荷動きの鈍い販売状況が続いている。 来週については、入荷量は多くないことから概ね保合の販売が見込まれるが、2L・L級は販売企画が少なく荷動きが鈍い販売となる見通し。 来週末から試食消費宣伝会の実施店舗を拡大しながら、荷動きの回復を図りたい。
		A 3 L	6,000~5,800	6,000~5,800			
		A 2 L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		A L	5,000~4,800	5,000~4,800			
		A M	4,000	4,000			
		B 4 L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		B 3 L	5,500~5,300	5,500~5,300			
		B 2 L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		B L	4,500~4,300	4,500~4,300			
		B M	3,800	3,800			
		C 2 L	3,800~3,700	3,800~3,700			
C L	3,600~3,500	3,600~3,400					

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	6,200~6,000 6,200~6,000 5,500~ 5,000~ 5,500~5,300 5,500~5,300 5,000~4,800 4,500~ 3,800~ 3,600~	6,200~6,000 6,200~6,000 5,500~ 5,000~ 5,500~5,300 5,500~5,300 5,000~4,800 4,500~ 3,800~ 3,600~		1本売り 498円 カット 98円/100g	北海道産（業者物が主体）を中心に本県産の販売。 入荷量は横ばい推移ではあるものの、入荷比率の少ない太物は保合となっているが、L級以下の細物の引合いが鈍く、弱保合となった。また、安価な転送品の出回りも、引続き多い状況となっている。 来週についても、北海道・本県産とも入荷増とならないことや仲卸在庫も少ないため、価格は概ね保合推移の見込み。しかし、転送品の出回りは増加傾向となっているため、細物・下級品については軟調傾向が見込まれる。
九州	本県産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L	6,000~ 6,000~ 5,500~ 4,800~ 5,500~ 5,500~ 5,000~ 4,500~ 4,000~	6,000~ 6,000~ 5,500~ 4,800~ 5,500~ 5,500~ 5,000~ 4,500~ 4,000~		カット 100g 88~68円	本県および北海道産の流通量の少なさから、価格高・売価高となっていることに伴い、量販店の売場は狭く、ながいも全体的に弱めの販売が続いている。 来週以降各地で消費宣伝も始まり、消費の喚起を促すが、特にL級以下の1本売りについては引合いが弱く、価格は弱めで推移する見込み。
東北	本県産 北海道産	A4L A2L A L B4L B2L C2L C L	6,000~5,800 5,500~5,300 5,000~ 5,300~5,200 5,200~5,000 3,800~3,600 3,600~3,500	6,000~5,800 5,500~5,300 5,000~ 5,300~5,200 5,200~5,000 3,800~3,600 3,600~3,500	なし	1本売り 480~円 カット 100g 78~58円	本県産中心の販売。 本県産の入荷量は減少となったものの、入荷割合の高いC品と売価設定が高めとなっている2L・L級については荷動きが鈍く、軟調推移となっている。 来週については、本県産の入荷量が増量となる中で、引続き荷動きが鈍い状況が予想されるため、消費宣伝会を実施し荷動きの回復を図る。

品名 に ん に く

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L A M	1,600~ 1,800~ 1,800~	1,600~ 1,800~ 1,800~	増加	L 1 P 298 円 M 1 P 198 円 中国産 3 P 100 円 スペイン産 1 P 158~98 円	本県産中心の販売。 今週について、産地出荷は微減となったが、末端の荷動きは変わっておらず、各社在庫を持ちながらの販売。特に 2 L 級の動きが鈍い。 来週について、荷動きの悪い中で本県産の入荷量は増量の見込みから、市況は弱含みで推移する見込み。 ながいもと同様に本県産の消費宣伝会を行い、売場の拡大に努める。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	1,700~1,600 1,800 1,800 1,500~1,400 1,600 1,600	1,600 1,800 1,800 1,400 1,600 1,600	2 L	L 1 P 258~198 円	本県産中心の販売となっている。 2 L 級については、価格を下げながら荷動きの回復を図ってはいるものの、流通在庫を抱えていることに加え、L 級中心の売場構成のため、荷動きの鈍い販売が続いている。 来週については、今週以上の入荷量が見込まれることから、流通在庫の多い 2 L 級中心に弱含みの販売となる見通し。 来週末からの消費宣伝会の実施店舗を拡大しながら、荷動きの回復を図りたい。
大阪	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M	1,800~1,700 2,000~1,800 2,000~1,800 1,600~1,500 1,800~1,500 1,600~1,500	1,800~1,700 2,000~1,800 2,000~1,800 1,600~1,500 1,800~1,500 1,600~1,500		L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 入荷量は微減となったものの、荷動きが鈍化しているため、仲卸在庫は増加傾向となっている。価格は軟調傾向となっており、等階級の価格差が小さい販売となっている。 来週も、入荷量は横ばいとなるものの、荷動きは変わらず弱保合が見込まれる。特に、2 L 級は流通在庫が多くなっていることから、価格の下げにより荷動きの回復を図りたい。
九州	本県産	A 2 L A L	2,000~1,800 2,000~1,800	2,000~1,800 2,000~1,800		L 1 P 298~258 円	本県産は一定量の入荷が続いているが、2 L 級および M 級の荷動きが鈍くなっている。 今後徐々に出荷量が減少していく見込みだが、安価な転送品も見られ、また、流通在庫を抱えながらの販売が続いていることから、価格は若干下げで推移する見込み。

品名 にんにく No. 2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産	A 2 L A L A M	1,700~1,500 2,000~1,800 2,000~1,800	1,700~1,500 2,000~1,800 2,000~1,800	なし		本県産中心の販売。 本県産の潤沢な入荷となっていることから2L中心に荷動きが鈍く、価格は軟調推移となっている。 来週については、本県産の入荷量は横ばいとなるものの、流通量の増加に加え安価な転送品も見られることから価格は弱含み推移となる見込み。

品名 ごぼう

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	10 kg A 2 L A L A M 4 kg A 2 L A L A M	2,500~2,300 3,300~3,000 3,300~3,000 1,200~1,000 1,300~1,200 1,400~1,200	2,500~2,300 3,300~3,000 3,300~3,000 1,200~1,000 1,300~1,200 1,400~1,200	3L・2L多い	L 1 P 258~198円 L ハーフ 258~198円 新ごぼう 2 P 198~178円	本県産および九州産（新ごぼう）の販売。 引続き、本県産の入荷量は少ないものの、荷動きの鈍さから市況は下げとなっている。また、本県地場市場からの安価な提案も増加しており、市況の下げに拍車をかけている。九州産については、2月より入荷ピークを迎えており、特売等の動きは新ごぼうにシフトしている。 来週についても、本県産の入荷量は少ないものの、荷動きの鈍さから、市況は弱保合推移の見込み。
名古屋	本県産 九州産	A M A 2 M A S A 2 S A 3 S	3,200~3,000 3,500~3,300 2,500~2,300 1,800~1,700 1,300~1,200	3,200~3,000 3,500~3,300 2,500~2,300 1,800~1,700 1,300~1,200	若干	【本県産】 2M2本入 258円 【九州産洗い】 200g 258~198円 特売 158円	本県産・九州産（新ごぼう）中心の販売となっている。 九州産新ごぼう主体の売場構成のなか、本県産については売場が狭まり荷動きは鈍いものの、入荷量が安定していることから、価格は弱保合の販売となった。 来週についても、売価設定の高い本県産の荷動きは鈍いと思われるが、入荷量は引続き少ない見込みから、価格は概ね保合の販売となる見通し。
大阪	北海道産 本県産 関東産	A 3 L A 2 L A L A M A 2 M A S A 2 S	2,300~ 3,000~2,800 3,500~3,300 3,500~ 3,500~3,000 2,400~2,200 1,500~	2,300~ 3,000~2,800 3,500~3,300 3,500~ 3,500~3,000 2,400~2,200 1,500~		ハーフ 158円 2M2P 198円	関東産を中心に、本県産・九州産（洗ごぼう）の販売。 入荷量は多くないものの、価格高から末端の消費が活発でないことと、量販店等からの注文は安価な関東産が主体となっていることから、全体的に荷動きは鈍い状況となっている。また、安価な転送品の出回りも、引続き多い状況となっている。 来週も関東産・本県産の入荷量は少ないものの、荷動きの鈍さから価格は弱保合での推移となる見込み。

品名 ご ぼ う No. 2

事務所	主 産 地	主 力 等 級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫 状 況	小売り 状 況	販 売 状 況
九 州	本 県 産	A 2 L A L A M	3,200~3,000 3,500~3,300 3,500~3,300	3,200~3,000 3,500~3,300 3,500~3,300		M2P 298 円	<p>本県産および九州各産地のごぼうの入荷量は多くはないものの、量販店および業務関係からの引合いは弱く、価格は下げ基調で推移している。</p> <p>量販店においては、価格高・売価高の影響により売場は拡張されず、業務関係からの引合いは更に鈍いことから、来週も価格は下押しの展開が続く見込み。</p>
東 北	本 県 産	4 kg A 2 L A L A M	1,100~1,000 1,300~1,100 1,400~1,300	1,100~1,000 1,300~1,100 1,400~1,300			<p>本県産中心の販売。</p> <p>本県産の入荷量は依然として少ない中で、太物については荷動きが鈍い状況が続いているものの、L・M級については引合い強く堅調な販売となっている。</p> <p>来週について、入荷量は増量とはならない中で、太物は引続き軟調推移となるものの、L・M級については保合推移となる見込み。</p>